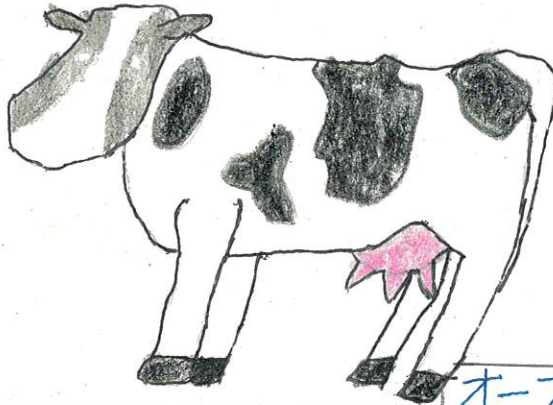
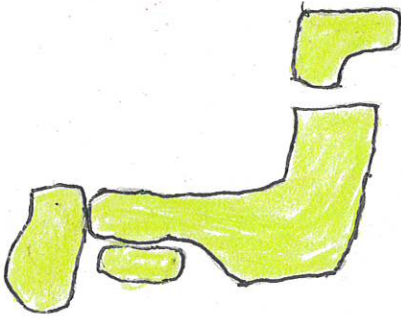
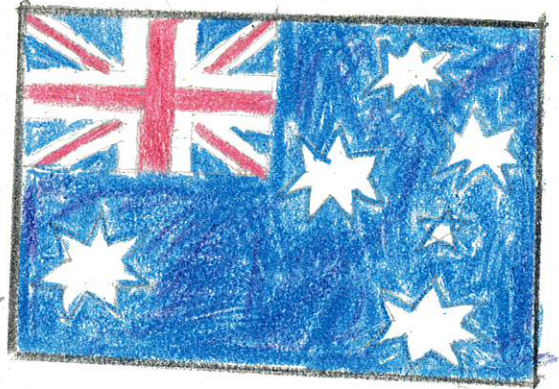
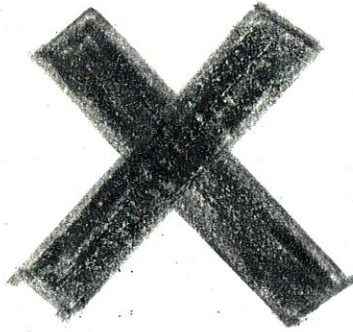
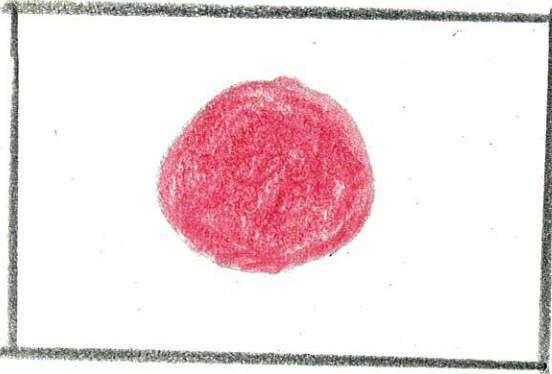


# 私の考える日本とオーストラリアの経営の特徴



日本

オーストラリア

吸血昆虫対策として防虫ネット  
濃厚飼料を与える  
粗飼料を作って与える  
人工授精が主流  
係留飼育が多い  
セリは60万円が平均

吸血昆虫用の忌避剤を投与  
屠殺100日前から穀物種類が  
混った飼料を与える  
自然授精で牛を増やす農家さんが多い  
放牧 → ストレスフリーで  
粗飼料がいらない  
セリは最高値21万円前後

## 私の目指す畜産経営～これからのアンバサダー活動～

人工授精の技術を身につけニーズにあった種を選んで人工授精する  
農地を拡大し、放牧に挑戦し、元気で健康な牛を育てる  
若者に向けて畜産の魅力を発信する

### まとめ

この石井修を通してオーストラリアの方々と国際交流ができ、英語に文才としての  
関心が深まりました。またアニマルウェルフェアを取り入れた畜産を直接見ること  
ができ大変勉強になりました。

油木高校 3年 田邊 綱汰